

認定番号：30

サポーター名：因幡堰土地改良区

- ▶実施内容の分類：(1) 企業等のWebページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載
(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
(4) 貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組実績 《 本年度の田んぼダムの取り組みは、本区管内1,079ヘクタールで実施 》
《 水防協力団体の指定を受け、水防活動（土のうの袋詰め作業）実施》

《 田んぼダム推進活動 》

・通年をとおして、田んぼダム取り組みの啓発を図るため、本区ホームページに掲載すると共に田んぼダムプロジェクトと称した下記YouTube等配信の実施。

因幡堰土地改良区（水土里ネットいなば）URL：<https://www.inabazeki.or.jp/tanbo>

《推進活動日と内容 》

- ・R7.4.18 松尾保全会来所（田んぼダム視察対応）
- ・R7.4.23 山形県庄内総合支庁来所（田んぼダム視察対応）
- ・R7.5.29 鶴岡市との水防協力団体指定に向けた水防計画打合せ
- ・R7.6.30 新潟県上川西農地・水・環境保全広域協定運営委員会来所（田んぼダム視察対応）
- ・R7.7.3 本区総代役職員等23名、北海土地改良区田んぼダム実証ほ場研修
- ・R7.7.23 鶴岡市より水防協力団体として指定（認定書授与）
- ・R7.7.25 藤島地区多面的機能支払い交付金による防災・減災力の強化（説明会参加）
- ・R7.7.30 地元高校生職場見学（水防に関する知識の普及及び啓発）
- ・R7.7.31 羽黒地区多面的機能支払い交付金による防災・減災力の強化（説明会参加）

認定番号：30

サポーター名：因幡堰土地改良区

- ▶実施内容の分類：(1) 企業等のWebページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載
(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
(4) 貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組
実績

《推進活動日と内容》

(田んぼダム視察対応)

- ・R7.8.2 いなば田んぼの学校69名（水防活動並びに水防に関する知識の普及及び啓発）
- ・R7.8.7 本区総代役員等30名、R7年度取組とダム効果の強化に係る研修及び報告会
- ・R7.9.11 やまがた情報マガジン誌「農楽里norari」取材協力（田んぼダムの取組など対応）
- ・R7.10.15 農業農村の多面的機能発揮に向けた全国土地改良大会(研修参加)
- ・R7.10.31 農業農村の多面的機能発揮に向けた山形県土地改良大会(研修参加)
- ・R7.11.1 いなば田んぼの学校41名（水防に関する知識の普及及び啓発）
- ・R7.11.26 酒田市本館地区田んぼダム啓発推進に係る説明会（講師依頼により参加）
- ・R8.2.2 山形県田んぼダム推進情報連絡会、副会長として参加
- ・R8.2.24 本区総代役員等30名、R7年度取組とダム効果の強化に係る研修及び報告会

認定番号：30

サポーター名：因幡堰土地改良区

- ▶実施内容の分類：(1) 企業等のWebページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載
(3) 各種イベント、セミナー、学会、講座、研修等での紹介
(4) 貯留施設の設置など自らの流域治水に資する取組

取組による効果

- 本区管内の田んぼダム取組目標は約1,180ヘクタールですが、本年度の取組実施面積は、1,079ヘクタール（目標91%達成）となっております。

特に山形県田んぼダム推進情報連絡会では、その構成委員の殆どが県や市町村等行政であります。私共が管理する地域の農業用水路は、農業用水の供給とあわせて農業を支えると共に、大雨の際にはその雨水の排出先として流域のスムーズな排水を可能とすることで住民生活を支える施設であることから、会議をとあわせては土地改良区が利水と治水の両面で、あらためて広く地域経済と共に防災減災として安心安全な暮らしを支えている組織との共通認識を得られたと同時に、田んぼダム視察にこられた地域では、幾らかでもこの取組の推進や拡大に寄与できているものと感じています。また、今年4月には、全国農村振興技術連盟より、令和6年度と同機関誌への投稿文（「どうする田んぼダム」 かんたん田んぼダムのすすめ）が、他の組織の取り組みにも参考になるとの評価から優秀報文に選定されました。

なお、一昨年より鶴岡市との間で協議をすすめておりました水防協力団体への認定につきましては、令和7年7月に同市より水防協力団体の指定を受けました。そこで本区では、土のうステーションとしての場所の提供とともに、多くの住民とボランティアを募っての初の水防活動となる土のうの袋詰めのほか、土のうステーションへの運搬とともに、この土のうの搬出を容易にするために、パレットとトンパック（いなば水防資材／表示）をセットで用意し、パレットに載せるトンパックには、それぞれ土のう100袋ずつ袋詰めを行うことで2パレット（計200袋）確保しました。また、新たなこの活動は、水防協力団体として活動業務計画書に位置づけしているものであり、これから毎年継続的に実施していくことでは、災害時の後方支援として長く地域の安全安心に貢献できるものです。